

● 薬物から子どもを守る十か条 ●

ご家庭においても、お子さんの様子をしっかりと気に留めていただき、少しでも心配に思われることがありましたら、学校や少年相談窓口(裏面参照)にご相談ください。

1 飲酒・喫煙・薬物について子どもと話し合いましょう

子どもとよく話し合い、「誰でもやっている」「害が少ない」という誤った認識を変えましょう。

2 子どもの話をよく聞きましょう

話を聞こうとしていることを、言葉や態度で示しましょう。

3 子どもが話しやすい雰囲気を作りましょう

努力や成果をほめてあげましょう。
子ども自身を攻撃せずに、誤った行動を正すようにしましょう。

4 勇気を出して「NO」と言うことの大切さを伝えましょう

友人に引きずられることなく、勇気を出して「NO」と言うことの大切さを伝えましょう。

5 保護者が模範となるよう努めましょう

子どもは、保護者の言動を必ず見ています。
保護者の言動は、子どもの生活に強い影響を与えます。

6 子どもが友人から圧力を受けても支えましょう

友人からの悪い誘いに「NO」と返事することで、プレッシャーがかかることがあります。力強く支えましょう。

7 家庭内で大人のルールを決めましょう

飲酒、喫煙等において、「子どもの手の届くところに置かない」「子どもに勧めない」等、家庭内での大人のルールを徹底しましょう。

8 一緒に子どもが打ち込めるものを探しましょう

飲酒や喫煙、更に薬物への誘惑を絶ち、興味本位で手を染めることがないよう、子どもが夢や希望をもって打ち込み、全力で取り組める環境づくりに努めましょう。

9 他の保護者と協力できるようにしましょう

子どもの友人の保護者と協力し、子どもの様子に変わったことがあれば、お互いに連絡・情報交換できる関係を築きましょう。

10 飲酒・喫煙・薬物について子どもと一緒に学習しましょう

保護者も、一緒に飲酒・喫煙・薬物の知識を深めましょう。

京都市教育委員会

